

News from Hatsutani Chizue

Hatsutani Chizue : A member of Mopara City Assembly

茂原市の公共施設、 修繕はどうなっている！？



こんにちは茂原市議会議員のはつたにちづえです。早いもので、この「ちづえだより」も今年第4号目となりました。また、8月より開設した私のホームページ www.chizue.jp も、9月までに全国から300件を超えるアクセスを記録しています。数字の上ではまだ力及ばずといったところですが、これからも市議会議員の立場から、多くの情報を皆様に提供し、市民と共に市政について考えていきたいと思っております。

さて、9月に行われた定例議会で、私は一般質問をさせていただきました。その中で、東部台文化会館の修繕・設備改修見積もり2億円2千万円に対して、この3年間で僅か1千万円しか予算化されていないことを例に、市の施設修繕への取り組みについて質問いたしました。市の回答では全ての施設に対して優先順位を決めて、適切に修繕を行っているとのことです。

施設修繕に関しては私以外の議員からも、図書館、学校施設、スポーツ施設等について、雨漏りや排水設備等の修繕、サービス機能の改善を求める意見が相次ぎました。その中で特に深刻なのは、老朽化によって落下などが考えられる危険箇所の修繕です。市ではこのような危険箇所を最優先として取りかかっていると説明していますが、その一方、急を要しない箇所はどうしても後回しにされているのではないかと思わずにはいられません。

本来、施設を建てれば10数年後には改修や修繕の必要が出てくると予めわかっているはずです。一般的の分譲マンションのように、長期修繕計画を立て、それに従って予算を計上し、計画的に修繕するようすれば、修繕費の高額化や、施設機能の低下はかなり防げると考えられます。今後も市財政の苦しい状況が予想される中、このような施設のライフ・サイクルを考慮した建設計画は絶対に必要です。また、施設機能が本当に市民のニーズに合ったものなのかを再検討し、場合によっては修繕よりも閉鎖・統合を選択することが求められるケースも出てくると思われます。皆さんはどういうふうにお考えでしょうか？

はつたに ちづえ

特集：平成13年9月議会から

平成13年第3回定例会（9月13日から9月27までの会期15日間）において提出された主な議案及び報告を取り上げます。

● 電子入札システムの導入を提案

本年8月、神奈川県横須賀市庁に、同市が導入して著しい成果を収めている「電子入札システム」の視察に行って参りました。「電子」とありますが、このシステムの特色は、談合や価格情報の漏洩の原因となる、業者同士の接触、また関係職員と業者間の接触を防ぐため、インターネットの持つ匿名性を最大限利用している点にあります。

このシステム導入で、横須賀市の平均落札率は平成9年に95.7%あったものが、平成12年に87.3%まで下落、つまり市に予定価格1億円※の発注予定工事があった場合、平成9年に業者は9,570万円で落札して請け負っていたものが、平成12年には8,570万円で請け負うようになったということです。発注側の市としてはこれで差引き $9,570 - 8,570 = 840$ (万円) の出費の節減になります。

一方、茂原市の平成12年度平均落札率は98.0%と、高い水準を保っています。仮にこの年の平均落札率が10%低い88%だった場合、12年度の工事予定価格の総額は約29億円ですから、その節減額はおよそ $29 \times 0.1 = 2.9$ (億円)にも上ります。

私は、この横須賀市が実施しているような電子入札システムを、茂原市でも取り入れる考えがあるかどうか議会で尋ねました。前向きな返答はいただけたものの、未だ「調査・研究の必要がある」と、取り組みまでには時間がかかりそうです。東京湾の向こう岸では、竹中経済企画担当大臣がわざわざ視察に来るほど先進的なシステムが、自治体主導で既に開発・導入されているというのに。

※予定価格：実例価格や需給状況などによって決定された、基準となる価格

● (仮称)障害者総合福祉センター白紙撤回に

市民から起こされた住民監査請求で、その違法性が問われていた(仮称)障害者総合福祉センター建設事業が白紙撤回されました。森川議員の質問に対して市長が明言したものです。昨年来、私は、この事業は無効であると主張してきたにも拘わらず、市長は、事業は継続であると強弁し続けてきました。よって、この突然の方針転換は全く意外なものです。ともかく、障害者福祉施設建設は振り出しに戻った訳ですから、今度こそ、住民・障害者の理解を得られるような手続きで、遅れを取った茂原の福祉行政を立て直さなければなりません。

●「圈央道周辺の自然環境に配慮するよう今後も要望していく」市長答弁

平成11年7月、石井市長は首都圏中央自動車道(圈央道)の市内建設予定地区の自然環境保全に関し、「特段の配慮」を、と県に意見書を出しています。計画決定された現在、この意見書がどの程度聞き入れられたと思うか市長に尋ねたところ、「自然環境に配慮するよう今後も要望していく」と力強い答弁をされました。

● 進まぬ本納地区の整備事業

つい先日(10月10日)も1日中雨が降り続き、外房線本納駅周辺で線路が冠水したため、電車が一時運行を見合わせました。帰宅時間帯であったため、多くの茂原市民が足止めされたと思われます。水害問題に象徴されるように、本納地区の整備事業は遅れていると言わざるを得ません。この他、同地区における学校施設の改修の必要性、河川・道路の整備事業の進捗など、本納地区で山積みとなっている問題点について、勝山議員から集中的に質問が出されました。

市の姿勢としては、今後も本納地区の整備事業を進めていくことですが、将来の市町村合併問題を抱える茂原市としては、昭和47年に茂原市と合併した本納地区(旧本納町)について、同地区住民、周辺町村がこの状況をどう評価しているのか、今こそ真剣に考えなければならないでしょう。

はつたにちづえ公式サイトのお知らせ

はつたにちづえの公式ホームページを今年8月に開設しました。

「ちづえだより」で伝えきれない情報はこちらに掲載しています。

アドレスは <http://www.chizue.jp> です。この他、ヤフー検索エンジンで「はつたに」と入力して探すことができます。

